8-2

主題	利用者の希望する活動を実現する取り組み
----	---------------------

レクリエーション

副題	マージャン導入にむけた取り組み
----	-----------------

研究期間	12ヶ月
------	------

事業所	通所介護・青陽園デイケアセンター
-----	------------------

発表者：佐藤圭司（さとうけいじ）

アドバイザー：

共同研究者：

電話	042-654-2110	メール	
----	--------------	-----	--

FAX	042-654-4448	URL	
-----	--------------	-----	--

今回発表の
事業所や
サービスの
紹介

社会福祉法人東京玉葉会が昭和55年に設立した、八王子にある定員30名の通所介護施設です。

自然に恵まれた広大な敷地には、特養・居宅・包括・訪問介護のほか、保育園、内部障害者更生施設を有し、相互交流および連携を図っています。

《研究前の状況と課題》

当センターでは、一日、30人の定員に対し、5名程の男性利用者がいるが、女性利用者が多い中、男性が好む活動というのがなかなか行えていない現状があった。

男性利用者の中には、センターを休みがちな方もいたため、少しでも興味を持ち楽しめる活動を行うことが、センターとしての課題であった。

ただし、当センターは1フロアしかなく、食事や活動を同じ部屋で行っているため、部屋を分けて活動を行うことは困難な状況にあった。

《研究の目標と期待する成果》

利用者の希望を叶え、少しでも興味のある活動を行うことで生き生きと楽しめる時間を持てれば、センターを休みがちな男性の参加を増やせるのではないかと、また、男性利用者同士の交流にもなり、良い効果があるのではないかと考えた。

《具体的な取り組みの内容》

ある男性利用者よりマージャンを行いたいとの申し出があり、その希望を叶えられるか、全体で行っていた午前中の活動（フロア飾り等）について職員で見直しを行った。フロア飾り、みつあみ、将棋、マージャン、塗り絵、漢字・計算ドリル等いくつかの活動を用意し、利用者の方に選択してもらう選択活動というものを一年かけて定着させた。

ただし、マージャンを行うには、音の問題、他の利用者への配慮等、いくつか課題があった。

マージャンのパイを交ぜるときの音の問題は、部屋を分けることができない為、入浴がない午後の時間帯に脱衣所にて行った。音の問題は解決できたが、部屋が分かれることにより、職員の目配りが行き届かないとの課題がでてきた。

そこで、午前中の選択活動にマージャンをとり入れることを全利用者に説明し、よく話しあった上、約束事を決め、行うこととなった。約束事の内容とは、外部ボランティアの演芸慰問があるときや静かな活動（書道等）があるときには行わない、賭け事はしない、フロアの奥のスペースで行うこと等とした。その結果として、他の利用者から音がうるさい、気になる等の苦情等はでていない。マージャンについては、賭け事はしないとの約束のもとで行ってはいたが、ただ行うだけでは物足りないとの意見があったため、点数表を作成し、順位や点数を記入し、より楽しめるものとした。

《取り組みの結果と評価》

改めてマージャンに参加する利用者を募ったところ、男性6名、女性4名の希望者があった。職員としては、女性にも希望者がいるということが驚きでもあったが、開始してみると、普段食事の席が離れていて話す接点がなかった方どうしが、1つのテーブルを囲み、仲良く楽しげにマージャンを行う姿が見られるようになった。

また順番や点数表の付け方については、利用者間で話し合いを行ってもらうことでトラブルなく行えている。また、利用者どうしでの支えあいつつた場面も見られるようになった。

片麻痺があり、パイを積めない利用者もいるが、利用者同士で助け合いながら行っている。今までは、お休みが多かった男性利用者も、お休みをすることが減り、また、午後には受診があるが午前のマージャンだけでも参加したいと、デイに通ってきてくれるようになった。

《まとめ》

活動が軌道に乗るまでには様々な課題があったが、取り入れたことにより、良い効果が出ている。今後の対応としては、興味はあるがマージャンのルール・やり方がわからないという利用者もいる為、わかりやすいカードゲームにして取り組めるようにいこうと考えている。

また、マージャンを行うには参加人数が足りないといった日もある為、ボランティア等の導入も検討していきたい。

《提案と発信》

（重要）現在の福祉業界は、現場からの発信力が試されています。貴事業所の取り組みを、広く他の事業所にも紹介し、福祉業界全体のレベルアップに繋げることができたら、大変意味のある発表になります。研究を通して、福祉業界への提案、他の事業所への呼びかけ等、貴事業所からの情報発信をご記入下さい。

【メモ欄】追加資料 有 無